

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：東川 直正

事業名	一般国道196号 <small>いまばり</small> 今治道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局																								
起終点	自：愛媛県今治市矢田 至：愛媛県今治市長沢			延長	10.3km																								
事業概要	<p>一般国道196号は、松山市を起点とし、今治市を経て、西条市小松町に至る全長約69kmの幹線道路であるとともに、通勤等日常生活を支える生活道路としての役割をもつ重要な路線である。</p> <p>今治道路（今治IC～今治湯ノ浦IC：延長10.3km）は、高規格幹線道路網を構成する一般国道の自動車専用道路である「今治小松自動車道」の一部であり、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）及び四国縦貫自動車道（松山自動車道等）と一体となり、産業・文化などの分野における地域間の交流を促し、地域の活性化を図ることを目的として計画された高規格幹線道路である。</p>																												
H13年度事業化	H3年度都市計画決定	H15年度用地着手	H24年度工事着手																										
全体事業費	726億円	事業進捗率 (平成30年3月末時点)	約51%	供用済延長	0.0km																								
計画交通量	16,600～17,000台/日																												
費用便益 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.01</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> </tr> </table>	B/C		(事業全体)	1.01	(残事業)	2.6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">297/755億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業費：256/714億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持管理費：41/41億円</td> <td></td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	297/755億円		事業費：256/714億円		維持管理費：41/41億円		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">766/766億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">走行時間短縮便益：669/669億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">走行経費減少便益：66/66億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">交通事故減少便益：30/30億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	766/766億円		走行時間短縮便益：669/669億円		走行経費減少便益：66/66億円		交通事故減少便益：30/30億円		基準年	平成30年
B/C																													
(事業全体)	1.01																												
(残事業)	2.6																												
総費用	(残事業)/(事業全体)																												
297/755億円																													
事業費：256/714億円																													
維持管理費：41/41億円																													
総便益	(残事業)/(事業全体)																												
766/766億円																													
走行時間短縮便益：669/669億円																													
走行経費減少便益：66/66億円																													
交通事故減少便益：30/30億円																													
感度分析の結果	<p>(事業全体)交通量：B/C=0.9～1.1（交通量±10%）(残事業)交通量：B/C=2.3～2.8（交通量±10%）</p> <p>事業費：B/C=0.98～1.05（事業費±10%）事業費：B/C=2.4～2.8（事業費±10%）</p> <p>事業期間：B/C=0.97～1.1（事業期間±20%）事業期間：B/C=2.5～2.7（事業期間±20%）</p>																												
事業の効果等	<p>流通の利便性の向上による産業の振興や、走行性の高い高速道路を利用することで緊急施設へのアクセシビリティが向上するなど、多様な整備効果が期待できる。</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の時間損失の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度の改善が見込まれる。 ・高速バスの速達性・定時性が向上し利便性向上が期待できる。 ・JR今治駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる。 ・松山空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治港（重要港湾）から新居浜市（臨海工業地）へのアクセス向上が見込まれる。 ・愛媛県の農水産品の大都市への流通の利便性向上が見込まれる。 <p>③都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治新都市開発整備事業との連携が見込まれる。 <p>④国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本州と四国を連絡する高規格幹線道路の一部を構成し、高速道路のミッシングリンクの解消が見込まれる。 ・隣接した日常生活圏中心都市（西条市）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑤個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治ICに隣接する今治新都市開発事業に進出した企業が四国内外の出荷に活用できるなど地域開発への支援が見込まれる。 ・本州方面から松山圏域や今治圏域の観光地へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑥安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（愛媛大学医学部附属病院）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑦安全な生活環境の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路の交通量が減少することで安全性の向上が期待できる。 <p>⑧災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成される。 																												

⑨地球環境の保全

- ・CO2排出量の削減が見込まれる。

⑩生活環境の改善・保全

- ・NOX排出量の削減が見込まれる。
- ・SPM排出量の削減が見込まれる。
- ・環境や景観上の効果が期待される。

⑪その他

- ・近隣市（西条市）から今治市への救急搬送時間の短縮が見込まれる。

関係する地方公共団体等の意見

- ・今治小松自動車道建設促進期成同盟会、道路整備促進既成同盟会愛媛地方協議会等から、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。
- ・愛媛県知事の意見
今治道路は、中国やまなみ街道が開通し、しまなみ海道と四国8の字ネットワークを結ぶ南北軸で唯一ミッシングリンクとして残されているため、引き続きコスト縮減に努めるとともに、早期供用に向けた整備促進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成13年7月 今治小松自動車道（今治湯ノ浦IC～東予丹原IC）延長9.0km 開通
- ・平成18年4月 西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）大島道路（大島北IC～大島南IC 延長6.3km）及び生口島道路（生口島北IC～生口島南IC 延長6.5km） 暫定2車線開通により瀬戸内しまなみ海道全線開通
- ・平成21年3月 県道今治丹原線 開通
- ・平成26年3月 （都）喜田村新谷線 開通
- （その他）
- ・平成17年3月 大型電気店開店
- ・平成18年9月 今治新都市第1地区分譲受付開始
- ・平成18年10月 今治新都市第2地区分譲受付開始
- ・平成18年11月 大型商業施設開店
- ・平成18年12月 大型商業施設開店
- ・平成25年10月 大型商業施設開店
- ・平成28年4月 大型商業施設開店

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成13年度に事業化、用地進捗率約93%、事業進捗率約51%（平成30年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・今治朝倉IC（仮称）～今治湯ノ浦IC区間は、平成24年度より工事着手し全面展開中。今治IC～今治朝倉IC（仮称）区間は、平成27年度より工事着手し、平成28年度より全地区において用地買収を実施中。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。